

# 会 告 2017.5

## ◇ 本会・他学会水環境関連行事一覧 ◇

開催期日	行事	開催地	案内記事掲載巻号
<b>2017年</b>			
5月 18日(木), 20日(土)	東日本大震災により流出し、東北沿岸から北太平洋を横断してアメリカ・カナダに辿り着いた海洋漂流物	東京, 仙台	本号
21日(日)	適正技術フォーラム準備イベント『小規模分散型テクノロジーの可能性』	東京	本号
23日(火)	<b>第30回環境工学連合講演会</b>	東京	本号
6月 3日(土)～4日(日)	第19回マリンバイオテクノロジー学会大会	仙台	40巻3号
13日(火)	グリーンサイエンス21 第11回セミナー「みんなの水道」	東京	本号
15日(木)	エコケミストリー研究会特別セミナー「環境管理対策と制度の今後」	東京	本号
16日(金)	<b>第37回通常総会</b>	東京	本号
21日(水)～23日(金)	第41回基礎化学工学演習講座 (第1クール)	名古屋	本号
28日(水)～30日(金)	第41回基礎化学工学演習講座 (第2クール)	名古屋	本号
7月 22日(土)～23日(日)	<b>WET 2017 (Water and Environment Technology Conference 2017)</b>	札幌	本号
26日(水)～28日(金)	第41回基礎化学工学演習講座 (第3クール)	名古屋	本号
28日(金)～29日(土)	第39回京都大学環境衛生工学研究会シンポジウム	京都	40巻4号
8月 4日(金)	<b>第26回市民セミナー「水環境におけるマイクロプラスチックに関する最新の動向」</b>	東京・大阪	本号
8日(火)～10日(木)	第41回基礎化学工学演習講座 (第4クール)	名古屋	本号
13日(日)～17日(木)	18th IWA International Conference on Diffuse Pollution & Eutrophication (DIPCON2017)	アメリカ	本号
8月 21日(月)～23日(水)	<b>第21回日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会「ワークショップ in 西条・愛媛」</b>	愛媛	本号
9月 11日(月)～14日(木)	The 7 <sup>th</sup> IWA - ASPIRE Conference 2017 & Water Malaysia Exhibition 2017 国際水協会 - アジア太平洋地域グループ 2017地域会議 (クアラルンプール)	マレーシア	本号
17日(日)～21日(木)	The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際生態モデリング学会)	韓国	本号
24日(日)～28日(木)	ISPTS2017「残留性有害物質に関する国際会議」 International Symposium Persistent Toxic Substances	愛知	40巻4号
26日(火)～28日(木)	<b>第20回日本水環境学会シンポジウム</b>	和歌山	本号
11月 9日(木)～12日(日)	<b>第23回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会</b>	沖縄	本号
<b>2018年</b>			
3月 15日(木)～17日(土)	<b>第52回日本水環境学会年会</b>	札幌	
9月 16日(日)～21日(金)	<b>IWA World Water Congress &amp; Exhibition 2018</b>	東京	
10月 15日(月)～19日(金)	第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	

## 会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール ([member@jswe.or.jp](mailto:member@jswe.or.jp)) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、原則として**中途退会はできません**のでご注意ください。

また平成 25 年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満 65 歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会 WEB サイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

## 平成 29 年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成 29 年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

**申込方法** 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

### 学生会員制度の概要

#### (1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで。なお、**本年 3 月の時点で学生会員であった方でも、3 月 31 日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の 2 桁は会員資格の年度（西暦 2 ケタ）を示します。**

#### (2) 会費および支払い方法

年間 5,200 円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

#### (3) 機関誌

平成 28 年度から、学生会員への学会誌の無償配布は無くなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局 ([member@jswe.or.jp](mailto:member@jswe.or.jp)) に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代 3,600 円をご入金ください。ご入金を確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。**入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。**入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

## 水環境学会誌原著論文編『高速審査月間』のお知らせ

水環境学会誌原著論文編（以下、和文誌）では昨年に引き続き 2017 年 3 月～5 月の 3 ヶ月間を『高速審査月間』と銘打って、学会員の皆様からの論文投稿を広く募集しております。

現在、和文誌は投稿から平均して 35 日で 1 回目の査読結果が通知され、最短 2 ヶ月で受理されています。『高速審査月間』では体制を強化し、遅滞ない査読を行い、投稿受付完了から 1 ヶ月以内に 1 回目の査読結果をお返しいたします。

日頃、研究活動に勤しんでおられる学会員の皆様に、各種プロジェクトの報告書作成に向けて、あるいは学位取得に向けて、スケジュールが組みやすく魅力的なサービスになるのではないかと考えております。また、3 月の年会でご発表いただいた内容をブラッシュアップし、広く学会員の皆様に成果を還元していただく上でも無理のないスケジュールになっているものと考えております。ぜひ、この機会をご活用いただき、貴重なご研究の成果を水環境学会誌でご発表ください。

編集委員長 小野 芳朗

本会関連行事

第37回通常総会のお知らせ

下記の通り第37回通常総会を開催いたします。会員各位のご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、総会にあわせて受賞者講演および特別講演を企画しておりますので、奮ってご参加ください。

学会ホームページの会員専用ページ内の総会出欠登録ページにて、総会への出欠の連絡、議事の委任もしくは議決権行使に関する手続きをお願い申し上げます（総会出欠登録ページ開設期間は5月24日（水）～6月15日（木）午後6時まで）。学会ホームページからのお手続きがどうしても難しい場合には、6月5日（月）までにその旨を事務局（電話 03-3632-5351、メール info@jswe.or.jp）へご連絡ください。出欠連絡、委任および議決権行使に関する紙面による回答票をお送りいたします。また、団体会員の方で総会当日出席者が団体会員登録の連絡担当者以外の方の場合、代理権を証明する書類のご提出をお願い申し上げます。書式は事務局に用意しておりますのでお問い合わせください。

**総会は正会員現在数の過半数のご出席がなければ議事を開くことができません。ご出席いただけない場合には、必ず委任もしくは議決権行使の手続きをおとりくださいますようお願い申し上げます。**

記

**日時** 2017年6月16日（金）13:00～17:00（予定、表彰式、受賞者講演および特別講演を含む）

**場所** タワーホール船堀 5階「小ホール」  
（東京都江戸川区船堀4-1-1 Tel: 03-5676-2111/  
都営地下鉄（新宿線）「船堀」駅徒歩1分）  
<http://www.towerhall.jp/4access/access.html>

**プログラム（案）：**

- 総会（決算の承認、理事・幹事・顧問・参与の選任 など）
- 表彰式
- 受賞者講演（学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞、技術奨励賞）
- 特別講演（開始予定：16:00）  
「パリ協定後の気候変動問題の展望」  
三村 信男 氏（茨城大学長）

**参加費** 無料

終了後に懇親会を開催する予定です。（会費：5,000円、当日現金受付）

なお、受賞者講演、特別講演には非会員の方の参加も歓迎いたします。

**Water and Environment Technology Conference (WET2017)**

日本水環境学会主催の国際会議“Water and Environment Technology Conference”を開催致します。会議で

の発表に併せて、Journal of Water and Environment Technology (JWET) への論文投稿を受け付けております。詳細は本会ホームページにてご確認ください。

**主催** 日本水環境学会

**期日** 2017年7月22日（土）～23日（日）

**場所** 北海道大学 学術交流会館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/hall/>

**交通** JR札幌駅から徒歩10分

**内容** 口頭発表とポスター発表のハイブリッド発表  
**発表申込方法**

発表申し込みは本会ホームページ（URL: <http://www.jswe.or.jp>）からのみ受け付けます。トップページのWET2017のバナーより発表申し込みのページ（<https://www.jswe.or.jp/extra/wet2017/registration.html>）にお進みいただき、必要事項および講演要旨（150語以上200語以内、謝辞を含む。登壇者に下線を引くこと。キーワードおよび図表は不要）を記入の上、送信して下さい。1人の登壇者が2つ以上の発表を行うことは認めておりません。申し込み期限は2017年5月15日（月）24:00 JST（日本標準時）、以下の期日は全て同様に延長されました。発表可と判断された場合、その通知を6月1日（木）までにお送りします。なお、WET2017で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます（提出された要旨にキーワードおよび図表が含まれていた場合、要旨集では削除されます）。

**論文投稿方法**

JWETへの論文投稿は、発表受付メールに記載の方法に従って2017年6月30日（金）までにWeb上で行ってください。投稿された論文は通常の査読を経た後、2017年8月31日（木）までに査読結果を通知いたします。なお、論文投稿の有無に関わらず、WET2017で配布される講演要旨集には要旨のみが掲載されます。

**テーマ（下記に限りません）**

- Analysis of water and environment quality
- Modeling of water and environment
- Treatment of water and wastewater
- Restoration of contaminated environment
- Hazardous chemicals and waste management
- Public health and risk assessment
- Environmental education and training
- Water reclamation

**表彰**

Excellent Poster AwardをWET2017の全発表者から、Excellent Research AwardをJWETへ論文投稿した発表者から選出し表彰します。

**参加登録**

WET2017のwebページにて、Early-bird registrationを2017年6月29日（木）24:00まで受け付けます。以

後は当日受付となります。登壇者（発表申込者）は自動的に事前予約扱いになりますので、事前予約は不要です。いずれの場合も、参加費は当日受付にてお支払いください。

**参加費**

一般

	Participant	Speaker
Early-bird	5,000 JPY	5,000 JPY
On site	7,000 JPY	5,000 JPY

学生

	Participant	Speaker
Early-bird	3,000 JPY	3,000 JPY
On site	4,000 JPY	3,000 JPY

**問い合わせ先**

WET2017 事務局

E-mail : wet@jswe.or.jp Fax : 03-3632-5352

**第 20 回日本水環境学会シンポジウム  
発表申し込み案内**

第 20 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会主導のプログラムで実施されますが、多くの研究委員会で発表を公募しておりますので、積極的に発表申し込みをしていただきますようお願いいたします。また、本部企画、関西支部企画、メタウォーター賞受賞者講演のほか、大学院博士後期課程の研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッションなど、多彩な企画が用意されています。

多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

**1. 概要**

**期 日** 2017 年 9 月 26 日（火）～27 日（水）  
（※ 9 月 28 日（木）：テクニカルツアー「紀の川の水環境」）

**会 場** 和歌山大学（〒640-8510 和歌山市栄谷 930）  
（<https://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>）

**内 容** 本部企画、支部企画、各研究委員会等の主催によるセッション、若手研究紹介（オルガノ）セッション、メタウォーター賞受賞者講演ほか。

**2. 研究発表の募集**

セッションを予定している研究委員会、セッション題目、公募の有無、連絡担当者は別表のとおりです。発表を希望される方は、直接、連絡担当者にお申し込みください。

**申込期限** 2017 年 6 月 27 日（火）（必着）

**応募資格** 原則として本会会員に限ります。

非会員で発表希望の方は、連絡担当者にお問い合わせください。

注：「若手研究紹介（オルガノ）セッション」が別表とは別に設定されますが、これについては、別項「平成 29 年度博士研究奨励賞候補者募集」を参照ください。

**3. 原稿作成・投稿方法**

**原稿枚数** A4 版 1～2 枚（図表込み）とします。

**原稿書式** 書式・投稿方法については、当学会ホームページに掲載しています。[http://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo\\_youryou.pdf](http://www.jswe.or.jp/event/symposium/pdf/Sympo_youryou.pdf)

**提出期限** 2017 年 8 月 16 日（水）（必着）

**4. 発表形式**

発表はシンポジウム形式を原則とし、1 演題 10～20 分としますが、運用の詳細は各研究委員会に一任されています。発表には液晶プロジェクターを利用できますが、パソコンは各研究委員会でご準備ください。

**5. 参加申し込み**

シンポジウム参加申し込み案内は本誌 6 月号に掲載予定です。発表者も必ずお申し込みください。

**6. テクニカルツアー「紀の川の水環境」のご案内**

巨大ダム（大滝ダム：紀の川上流）による河川水質への影響、工業用水・飲料水の確保のための環境保全型の堰（紀の川大堰：紀の川下流）、平安時代から続く紀の川の灌漑水路（紀の川中流）について、技術的な観点から紀の川の上流から下流まで巡検して議論を深めます。なお、水環境学会誌 7 月号特集は「紀の川の水環境」であり、本テクニカルツアーの背景理解の一助となる情報を提供します。

**7. 託児施設**

学内に託児施設を開設します。ご利用をご検討の方は、[takuji@jswe.or.jp](mailto:takuji@jswe.or.jp) までご連絡ください。

**平成 29 年度**

**博士研究奨励賞（オルガノ賞）候補者募集**

**募集対象者**

本年 3 月末時点で 35 歳以下の本会会員のうち、博士後期課程大学院生、もしくは 2016 年 1 月 1 日以降に博士後期課程において学位（博士）取得した者で、第 20 回日本水環境学会シンポジウム（和歌山大学：2017 年 9 月 26～27 日）の若手研究紹介（オルガノ）セッションに於いて発表可能な方が対象となります。ただし、2016 年度以前に同賞を受賞された方は対象になりません。

**応募方法**

以下の書類を 2017 年 6 月 27 日（火）（締切厳守）までに、原則として電子的に提出してください。

(1) 論文（A4 用紙 4 または 6 頁）

執筆要領は、「シンポジウム講演集原稿執筆要領（<http://www.jswe.or.jp/awards/organo/pdf/genkou.pdf>）」を参照してください。論文は、博士課程における研究成果をまとめたものとしませんが、原著論文でも、また既発表の内容を含んだものでも構いません。ただし、図表や文章をそのまま転載すると著作権法違反に問われる場合がありますので、ご注意ください。また原著論文の場合、他雑誌への投稿を本学会が妨げるものではありません。

第 20 回日本水環境学会シンポジウム 別表

研究委員会名	セッションタイトル	公募 有無	開催 期日	連絡先
本部企画	環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術	なし	26 PM	寺西 制, 高松達朗 (環境省総合環境政策局) Tel: 03-5521-8239 Fax: 03-3593-7195 TADASHI_TERANISHI@env.go.jp, TATSURO_TAKAMATSU@env.go.jp
				入江政安 (大阪大学大学院工学研究科) Tel: 06-6879-7605 Fax: 06-6879-7607 irie@civileng.osaka-u.ac.jp
				小林拓朗 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター) Tel: 029-850-2400 Fax: 029-850-2560 kobayashi.takuro@nies.go.jp
関西支部企画	紀の国, 水の国-紀の国を育む水とその歴史・文化-	なし	27 PM	松村千里 (兵庫県環境研究センター) Tel: 078-735-6911 Fax: 078-735-7817 jswe-ms@ee-net.ne.jp 及び matsumura-c@hies-hyogo.jp
嫌気性微生物処理	省エネ・低炭素化に資する嫌気性微生物処理技術	有	26 PM	稲森悠平 ((公財) 国際科学振興財団) Tel: 090-3203-4853 inamori514@gmail.com, y_inamori@fais.or.jp
MS 技術	環境汚染物質と MS 分析	有	26 PM	高野典礼 (石川工業高等専門学校) Tel: 076-288-8160 Fax: 076-288-8171 takano@ishikawa-nct.ac.jp
生物膜法	有機性排水処理における自動制御システム導入による高度処理電力削減 WIN-WIN 国際化	なし	27 PM	久保田健吾 (東北大学大学院工学研究科) Tel: 022-795-5011 Fax: 022-795-5011 kengo.kubota.a7@tohoku.ac.jp
身近な生活環境	あらためて身近な生活環境を考える	有	27 AM	新野竜大 (L S I メディエンス) Tel: 080-4110-4854 Fax: 088-656-7618 Niino.Tatsuhiko@mp.medience.co.jp
微生物生態と水環境工学 (旧ポピュレーションダイナミクス)	いますぐできる網羅解析	有	26 PM	江種伸之 (和歌山大学) Tel: 073-457-8331 Fax: 073-457-8340 egusa@center.wakayama-u.ac.jp
バイオアッセイによる安全性評価	生態毒性試験の標準化	なし	27 PM	磯部友彦 (国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター) Tel: 029-850-2910 Fax: 029-850-2534 isobe.tomohiko@nies.go.jp
土壌地下水汚染研究委員会	土壌地下水汚染問題の最新動向	有	27 PM	真砂佳史 (国連大学サステナビリティ高等研究所) Tel: 03-5467-1212 (内線 1382) Fax: 03-3499-2828 masago@unu.edu
水環境と洗剤	流域規模での化学物質管理: 測定手法と影響評価	有	27 PM	田中周平 (京都大学) Tel: 075-753-5171 Fax: 075-753-5171 t-shuhe@eden.env.kyoto-u.ac.jp
水中の健康関連微生物	健康関連微生物制御の新技術・新展開	有	27 AM	佐藤祐一 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター) Tel: 077-526-4044 Fax: 077-526-4803 sato-y@lberi.jp
湿地・沿岸域	湿地・沿岸域の環境動態と生態系の理解に向けて	有	26 PM	須田康司 (水 ing 株式会社) Tel: 050-3482-8136 Fax: 03-5479-8592 suda.koji@swing-w.com
ノンポイント汚染	ノンポイント汚染研究の設計概念と手法	なし	27 AM	恩田建介 (水 ing 株式会社) Tel: 0466-91-5704 Fax: 0466-82-2859 onda.kensuke@swing-w.com
膜を利用した水処理技術	膜の適用拡大に向けた最新技術動向	なし	27 PM	寺嶋光春 (北九州市立大学) Tel: 093-695-3212 Fax: 093-695-3389 m-terashima@kitakyu-u.ac.jp
紫外線を利用した水処理技術	紫外線的水処理技術のミカタ	有	27 AM	宮里直樹 (群馬工業高等専門学校) Tel: 027-254-9191 Fax: 027-254-9191 nmiyazato@cvt.gunma-ct.ac.jp
産業排水の処理・回収技術	水処理システムの革新に向けた取り組み	有	26 PM	小森正人 (株式会社ヤマト 大和環境技術研究所) Tel: 027-290-1865 Fax: 027-290-1897 Komori_Masahito@yamato-se.co.jp
システム解析	システムとして評価することを考える	なし	27 PM	宮城俊彦 (元沖縄県衛生環境研究所) Tel: 098-884-8325 miyagto571123@yahoo.co.jp
電気化学的技術	電気化学的技術の環境プロセスへの応用	有	26 PM	赤尾聡史 (同志社大学) Tel: 0774-65-6578 Fax: 0774-65-6801 sakao@mail.doshisha.ac.jp
熱帯・亜熱帯地域の水環境	熱帯亜熱帯地域における水処理技術の特性と展望	有	27 PM	春日郁朗 (東京大学) Tel: 03-5841-6263 Fax: 03-5841-6244 kasuga@env.t.u-tokyo.ac.jp
農産業に関わる水・バイオマス循環技術	農産業に関わる水・バイオマス利用技術の新たな展開	なし	27 AM	
将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会	将来の水環境の変化と水供給の課題	なし	26 PM	

ません。講演要旨の内容に関する責任は著者にあり、当学会が責任を負うものではありません。

(2) 関連する研究業績リスト

次の通り、分けて記載をお願い致します。

- 学術雑誌論文（水環境学会誌, Journal of Water and Environment Technology, Water Research など）については、第一著者およびその他に分けて記載してください。
- 国際会議論文については、IWA 主催のものとはそれ以外のものに分け、発表者を明記してください。
- 国内学会発表論文（講演概要）については、本学会関連のものとはそれ以外に分け、発表者を明記してください。

(3) 大学卒業以降の履歴書

(4) 当学会の会員番号

注) 申し込みまでに、入会手続きを終了し、会員番号を取得している必要があります。

選考方法

提出された論文、関連する研究業績リストに基づき、1次選考を行います。1次選考の結果は、8月上旬までに、電子メールにて通知いたします。研究業績に関しては大学院生が不利にならないよう、研究期間を加味して評価を行ないます。

1次選考を通過した方は、第20回日本水環境学会シンポジウムの若手研究紹介（オルガノ）セッション（9月26日（火））にて発表をしていただき、発表審査を行います。書類選考と発表審査結果を総合的に評価し、博士研究奨励賞受賞者を決定いたします。表彰は当日の懇親会にて行いますので、懇親会にも必ず出席してください。1次選考通過者にはシンポジウム参加に当たり、交通費、宿泊費、参加費および懇親会費が補助されます。

応募書類送付・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会  
シンポジウムオルガノセッション係  
Tel : 03-3632-5351 E-mail : kubota@jswe.or.jp

第30回環境工学連合講演会

「気候変動における環境工学の貢献～緩和と適応～」

主催 日本学術会議 土木工学・建築学委員会学際連携分科会

期日 2017年5月23日（火）9:15～17:10

場所 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）  
東京メトロ・千代田線「乃木坂駅」下車

プログラム 詳しくは下記 URL をご覧ください。

定員 200名（申込み先着順/定員に余裕がある場合は当日の参加も受付いたします）

参加費 無料

講演論文集を別途2,000円（学生1,000円）にて会場です料頒布

詳細 URL <http://www.shasej.org/bosyu/1701/2017kan-kyoukougaku/30th-kankyokougaku.pdf>

申し込み・問い合わせ先 （公社）空気調和・衛生工学会事務局（担当 半田）

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-8

神楽坂プラザビル4階

Tel : 03-5206-3600 Fax : 03-5206-3603

E-mail : handa@shase.or.jp

第26回市民セミナー

「水環境におけるマイクロプラスチックに関する最新の動向」

海洋ごみの多くがプラスチックであるが、分解性が低く、環境中に長く留まることが指摘されてきたが、近年、プラスチックが細片化されたマイクロプラスチックの存在が明らかとなってきた。マイクロプラスチックは海洋中ではごく低濃度でしか存在しない有害性の高い化学物質を吸着し、濃縮することも明らかになりつつあり、摂取した魚や鳥などにこれらの有害な化学物質が移行することも分かってきた。しかし、マイクロプラスチックの水環境中から検出、定量することは大変難しく、世界的な汚染実態や水環境中における動態、生物や人への影響については明らかになっていない事が多い。本セミナーではマイクロプラスチックに関する最新の研究成果を最先端で活躍する4名の講師から話題提供を頂く。

本セミナーはテレビ会議システムにより、東京と大阪で同時に開催します。

主催 日本水環境学会

期日 2017年8月4日（金）10:50～16:30

場所 東京会場：地球環境カレッジホール（いであ（株）内）（東京都世田谷区駒沢）

<http://www.gecollege.or.jp/gec/gec.htm#02>

大阪会場：いであ（株）大阪支社 ホール

（大阪市住之江区南港北）

[http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka\\_new.htm](http://www.ideacon.jp/contents/company/osaka_new.htm)

プログラム

10:20～ 受付

10:50～ 開会挨拶

11:00～ プラスチックと化学物質汚染

東京農工大学農学部

高田秀重氏（東京会場）

12:00～ 昼休み

13:00～ 漂着物の現状とモニタリングの課題

愛媛大学工学部 日向博文氏（東京会場）

14:10～ マイクロプラスチックの海域汚染の状況

九州大学大気海洋環境研究センター

磯辺篤彦氏（東京会場）

15:20～ マイクロプラスチックの淡水域汚染の状況  
 京都大学大学院地球環境学堂  
 田中周平氏（大阪会場）

16:20～ 閉会挨拶  
 ※講師の都合等で一部変更となる場合があります。

**参加費**（税込，資料代含む）

一般 3,000 円，大学生 1,000 円，高校生以下無料

**定員** 250 名（東京会場 150 名，大阪会場 100 名）

**申込方法** FAX, E-mail またはハガキに①参加者氏名（フリガナ）②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先（所属団体名，住所，電話・FAX 番号および E-mail）をご記入の上，下記宛お申し込みください。なお，定員に達した場合は受付を終了させていただきます。また，参加費を 7 月 28 日までにお振り込みください。入金を確認後，参加証（ハガキ）をお送りいたします。

**参加費振込先**

三菱東京 UFJ 銀行 市ヶ谷支店  
 （普通）0754950  
 （公社）日本水環境学会セミナー口  
 シャ）ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

**申し込み・問い合わせ先**

（公社）日本水環境学会 セミナー係 戸川  
 〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7  
 グリーンプラザ深川常盤 201 号  
 Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352  
 E-mail：togawa@jswe.or.jp

## 第 21 回日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会「ワークショップ in 西条・愛媛」

**主催** 日本水環境学会ノンポイント汚染研究委員会

**期日** 2017 年 8 月 21 日（月）～23 日（水）

**場所** 愛媛県西条市

**スケジュール**

8 月 21 日（月）  
 12:30 JR 西条駅集合なし  
 講演会場（地域創生センター西条）  
 13:00 ワークショップ（Ⅰ）  
 公開講演会「水の都西条の水環境と今後の展望（仮題）」  
 (1) 西条市の水文環境の特徴 高瀬恵次  
 （愛媛大学名誉教授・石川県立大学特任教授）  
 (2) 西条市の水質環境の特徴 徳増実  
 （元西条市生活環境部環境衛生課長）  
 (3) 総合討論  
 15:30 フィールドワーク（Ⅰ）  
 アサヒビール西条工場見学  
 17:00 夕食（アサヒビール西条工場にて）

19:00 ワークショップ（Ⅱ）  
 学生による研究発表とディスカッション

8 月 22 日（火）

午前 フィールドワーク（Ⅱ）西条市上流部（石鎚山系の森林・河川）での水質調査

午後 フィールドワーク（Ⅲ）西条市東部地下水（うちぬき自噴井戸等の水質調査）

16:00 ワークショップ（Ⅲ）グループディスカッション

17:30 懇親会（地域創生センター西条のレストラン）

19:30 ワークショップ（Ⅳ）グループディスカッションの意見発表会

8 月 23 日（水）

午前 フィールドワーク（Ⅳ）西条市西部地下水（水田・畑地帯）の水質調査

13:00 頃 解散（JR 西条駅まで御案内します）

※スケジュールは，今後，若干の変更可能性有り。

**参加費** 社会人 8,000 円 学生 3,000 円（資料代・現地交通費を含む。懇親会費，食費，宿泊費は別。）

**宿泊費** 地域創生センター西条（2泊3日（朝食付き）で 4,000 円程度）

**申し込み締め切り** 2017 年 7 月 21 日（金）

**定員** 40 名

**申し込み・問い合わせ先**

治多伸介（愛媛大学大学院農学研究科）  
 Tel/Fax：089-946-9963  
 E-mail：haruta@agr.ehime-u.ac.jp  
 佐藤祐一（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）  
 Tel：077-526-4044 E-mail：sato-y@lberi.jp  
 ノンポイント汚染研究委員会ホームページ URL  
[http：www.jswe-nonpoint.com](http://www.jswe-nonpoint.com)

## 第 23 回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から，汚染物質の移動機構の解明，汚染による影響やリスクの評価，汚染の防止対策・修復技術・修復評価，地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する様々な課題についての国内最大規模の研究集会として，研究成果や事例発表，意見交換や技術交流，人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年，100 件を超える研究発表等や特別講演，企業展示などが行われ，大勢の方々にご参加いただいております。

このたび第 23 回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は，公開シンポジウム「地下水・土壌汚染対策による土地・水資源の利活用と地域振興に向けて」や沖縄県における地下水および土壌汚染関連の現地見学会も企画しておりますので，多くの皆様に，ご発表やご参加を頂きますようご案内申し上げます。

**主催** 日本地下水学会（主管学会）、日本水環境学会、  
廃棄物資源循環学会、地盤工学会、  
土壤環境センター

**期日** 2017年11月9日（木）～12日（日）

**場所** 沖縄県男女共同参画センター「ていりる」  
大ホール他（沖縄県那覇市西3-11-1）

**内容（予定）**

11月9日（木）、11月10日（金）

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、  
企画シンポジウム、企業展示他

11月10日（金）懇親会

11月11日（土）公開シンポジウム

11月12日（日）現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壤環境セン  
ターのHPで確認ください。

**参加申し込み方法** 土壤環境センターのホームページ上  
で必要事項を入力してお申し込みください。

(<http://www.gepc.or.jp/>)

**事前参加申込締切** 2017年10月6日（金）

**参加費** 一般：9,000円（11,000円）、

学生：3,000円（4,000円）

懇親会会費：5,000円（6,000円）

※括弧内は当日受付の場合

**詳細 URL** <http://www.gepc.or.jp/kenkyu/23rd/>

**問い合わせ先** 第23回 地下水・土壤汚染とその防止対  
策に関する研究集会事務局 久保木

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5

KSビル3階

（一社）土壤環境センター内

Tel：03-5215-5955 Fax：03-5215-5954

### IWA 関連行事

#### The 7<sup>th</sup> IWA – ASPIRE Conference 2017 & Water Malaysia Exhibition 2017 国際水協会－アジア太平洋地域グループ 2017 地域会議（クアラルンプール）

**主催**：The Malaysian Water Association (MWA),  
Asia Pacific Regional Group (ASPIRE)

The International Water Association (IWA)

**期日**：2017年9月11日（月）～14日（木）

**場所**：Kuala Lumpur Convention Centre

**日程（予定）**：

- YWP ワークショップ（9月10日）
- ウェルカムレセプション（9月11日）
- 基調講演、一般講演、展示（9月11日～13日）
- ガラ・ディナー（9月12日）
- 閉会式（9月13日）
- 視察（9月14日）

**参加費**（USD、変更がありました）

支払日	一般		学生
	IWA 会員	非会員	
4月15日以前	620	760	350
9月10日以前	715	875	350
現地	775	945	350

詳細：<http://www.aspire2017.org.my/>

#### The 7<sup>th</sup> IWA – ASPIRE Conference & Exhibition 会議参加ツアー案内

**期間**：2017年9月10日（日）～14日（木）、5日間

**場所**：クアラルンプール（マレーシア）

**旅行代金**：¥89,000 東京（成田）発着基本プラン  
（各種航空税（約¥5,000）が別途必要）

**利用ホテル**：Traders Hotel Kuala Lumpur  
（2名1室基準、会場に隣接、ホテルの手配  
のみも可能）

**利用航空会社**：マレーシア航空又は日本航空（エコノミ  
ークラス）

**最少催行人数**：10名、先着順20名（予定）

**申込み締切日**：2017年6月20日（火）

**申し込み・問い合わせ先**

（株）ティ・アイ・コンソーシア 今田（コンタ）

〒102-0074 千代田区九段南3-3-6 麹町ビル5F

Tel：03-3238-5251 Fax：03-3238-5271

E-mail：konta.akehiro@travel-i.net

注）上記の案内は情報提供であり、本ツアーは日本水  
環境学会が企画・主催しているものではありません。

#### 18th IWA International Conference on Diffuse Pollution & Eutrophication (DIPCON2017)

**主催** Specialist Group of Diffuse Pollution, IWA

**期日** 2017年8月13日（日）～17日（木）

**場所** UCLA Luskin Conference Center,  
Los Angeles, USA

**早期割引参加登録期限** 2017年6月15日（木）

**問い合わせ先** E-mail：iwadipcon2017@hsseas.ucla.edu

URL：<http://www.iwadipcon2017.org/>

### 他学会関連行事

#### 東日本大震災により流出し、東北沿岸から 北太平洋を横断してアメリカ・カナダに 辿り着いた海洋漂流物

**主催** 環境省・北太平洋海洋科学機構（PICES）

**期日** 2017年5月18日（木）午後（東京）  
5月20日（土）午前（仙台）



**場 所** (5月18日) 東京海洋大学品川キャンパス 楽水  
会館, (5月20日) ハーネル仙台2階「松島A」

**プログラム** 漂流物のモデルシミュレーション 蒲地政  
文 JAMSTEC/北米西海岸とハワイにおける漂着状況  
とモニタリング Nancy Wallace NOAA/北米西海岸  
設置ウェブカメラによる漂着物挙動解析 磯辺篤彦 九  
州大/漂着物付着生物の多様性-無脊椎動物-  
James T. Carlton ウィリアムズ大学/海藻- 川井  
浩史 神戸大/リスクアセスメント-漂着物付着生物種-  
Thomas Therriault カナダ水産海洋省/移入種の移  
送担体- Cathryn Clarke Murray カナダ水産海洋省  
それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

**申し込み方法** 環境省にメール事前登録

**参加申込締切** 2017年5月17日(水)

**参加費** 無料

**詳細 URL** <http://www.env.go.jp/press/103808.html>

**問い合わせ先** 国立環境研究所 牧 秀明

Tel: 029-850-2394 Fax: 029-850-2569

E-mail: [hidemaki@nies.go.jp](mailto:hidemaki@nies.go.jp)

### 適正技術フォーラム準備イベント 『小規模分散型テクノロジーの可能性』

**主 催** 適正技術フォーラム準備委員会/APEX

**期 日** 2017年5月21日(日) 13:30~18:00

**場 所** JICA 地球ひろば 国際会議場  
(東京都新宿区市谷本村町 10-5)

**プログラム** 本セミナー・パネルディスカッションでは、  
再生可能エネルギーや「水と衛生」分野における途上  
国でのさまざまな実践を踏まえつつ、〈適正技術〉を今  
日的な新しい意義を持つものとしてとらえ直し、それ  
が今後の持続可能な社会の形成に果たす役割について  
考えます。専門的な知識は必要ありません。開発や国  
際協力・技術協力にご関心のある方はどうぞふるって  
ご参加ください。

**申込方法** メール・電話、およびウェブサイト

**参加申込締切** 2017年5月21日(日)

**参加費** 一般: 1,500円 学生 1,000円

**詳細 URL** <http://www.apex-ngo.org/2017forum.html>

**問い合わせ先** 特定非営利活動法人 APEX

〒110-0003 東京都台東区根岸 1-5-12 井上ビル

Tel: 03-3875-9286 Fax: 03-3875-9306

E-mail: [tokyo-office@apex-ngo.org](mailto:tokyo-office@apex-ngo.org)

### グリーンサイエンス 21 第 11 回セミナー「みんなの水道」

**主 催** グリーンサイエンス 21

**共 催** 日本水道工業団体連合会

**期 日** 2017年6月13日(火) 13:30~17:00  
(13:00 受付開始)

**場 所** 全水道会館 (JR 水道橋駅徒歩 5 分)

**プログラム**

講演 1 「アメリカ南西部の水道事情-多様化する水資  
源管理: 節水・淡水化・雨水利用・再利用-」

パシフィック・アドバンスト・シビル・エンジニア  
リング PhD, PE, PEng 池端慶祐 氏

講演 2 「クロラミンについて」

株式会社メルス技研代表取締役, スイミングプール  
水質管理懇話会・代表世話人 関 秀行 氏

**申し込み方法** 詳細 URL を参照。

**締め切り** 定員 100 名になり次第, (要事前登録)

**参加費** 一般 3,000 円, (GS21 会員) 1,000 円

**問い合わせ先** NPO 法人グリーンサイエンス 21 事務局  
留守電/Fax: 03-3952-1121

詳細 URL: <http://www.npo-gs21.org/>

### 特別セミナー「環境管理対策と制度の今後」

**主 催** エコケミストリー研究会

**共 催** 日本水環境学会 他

**期 日** 2017年6月15日(木) 9:55~16:50

**場 所** 化学会館 (東京都千代田区神田駿河台 1-5)

**プログラム** 1. 気候変動対策と制度の今後 (東京大学名  
誉教授 安井至氏), 2. 水環境管理対策と制度の今後  
(東京農工大学 細見正明氏), 3. 土壌汚染対策と制度  
の今後 (産業技術総合研究所 張銘氏), 4. 廃棄物・  
資源循環対策と制度の今後 (早稲田大学 大塚直氏),  
5. 大気環境管理対策と制度の今後 (日本環境衛生セン  
ター アジア大気汚染研究センター 坂本和彦氏), 6.  
化学物質対策と制度の今後 (国立環境研究所 鈴木規  
之氏)

**申し込み方法** 下記詳細 URL をご確認ください。

**参加申込締切** 定員 (80 名) になり次第。

**参加費** 主催団体の賛助会員 6,000 円, 主催・共催・後  
援団体の一般会員 12,000 円, 非会員 16,000 円

**詳細 URL** <http://www.ecochemi.jp/symposium.html>

**問い合わせ先** エコケミストリー研究会事務局

〒246-0036 横浜市瀬谷区北新 29-10

Tel/Fax: 045-304-1624

E-mail: [info@ecochemi.jp](mailto:info@ecochemi.jp)

### 第 41 回 基礎化学工学演習講座

**主 催** 化学工学会東海支部

**協 賛** 日本水環境学会ほか

**期 日** 第 1 クール 2017年6月21~23日(水~金)

第 2 クール 6月28~30日(水~金)

第 3 クール 7月26~28日(水~金)

第 4 クール 8月8~10日(火~木)

場 所 第1, 2クール：名古屋市工業研究所第1会議室  
第3, 4クール：名古屋駅前イノベーションハブ

プログラム

- 第1クール 化学工学基礎・拡散, 流動, 伝熱
- 第2クール 攪拌・混合, 反応工学, プロセス制御
- 第3クール 蒸留, ガス吸収, 抽出・吸着
- 第4クール 調湿・乾燥, 粉粒体操作, 固液分離を各開催。化学工学の知識を豊富な実例に基づき演習を通じて修得する講座。

各クール内容詳細は, HP をご覧ください。

申込方法 化学工学会東海支部HPからお申込みください。

参加申込締切 各クールとも定員になり次第

参加費 詳細はホームページをご覧ください。

\*協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

詳細 URL <http://scej-tokai.org/>

問い合わせ先 公益社団法人 化学工学会東海支部

名古屋市中区大須 1-35-18

(公財) 中部科学技術センター内

Tel : 052-231-3070 Fax : 052-204-1469

**The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017**  
(国際生態モデリング学会)

主 催 The International Society of Ecological Modeling

期 日 2017年9月17日(日)~21日(木)

場 所 Ramada Plaza, Jeju, Korea (韓国済州島)

詳細 URL <https://www.elsevier.com/events/conferences/international-society-for-ecological-modelling-global-conference>

問い合わせ先 山口大学大学院創成科学研究科 関根雅彦

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

Tel : 0836-85-9311 Fax : 0836-85-9301

E-mail : ms@yamaguchi-u.ac.jp

おしらせ

**北海道大学大学院地球環境科学研究院  
統合環境科学部門 教授の公募**

募集人員 教授, 1名

所 属 北海道大学大学院地球環境科学研究院

専門分野 環境適応科学・環境化学 詳細 URL 参照。

応募資格 博士の学位を有すること。

採用予定日 2017年10月1日以降

応募方法 原則郵送。提出書類は以下詳細 URL をご参照ください。

応募期限 2017年5月31日(水) 必着

詳細 URL <http://www.ees.hokudai.ac.jp/modules/ bulletin/index.php?page=article&storyid=305>

問い合わせ先 北海道大学大学院地球環境科学研究院  
統合環境科学部門

〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目

Tel : 011-706-2283 Fax : 011-706-4954

E-mail : tsuyu@ees.hokudai.ac.jp

**東邦大学理学部生命圏環境科学科 講師の公募**

募集人員 講師, 1名

所 属 東邦大学理学部生命圏環境科学科・環境化学部門

専門分野 環境化学

応募資格 (1) 博士の学位を有すること

(2) 当該専門分野について研究実績を持つこと  
それ以外は以下詳細 URL をご参照ください。

採用予定日 2018年4月1日

応募方法 詳細は以下 URL をご参照ください。

応募期限 2017年6月30日(金) 必着

詳細 URL [http://www.toho-u.ac.jp/sci/env/saiyo/saiyo\\_env\\_20170330-2.html](http://www.toho-u.ac.jp/sci/env/saiyo/saiyo_env_20170330-2.html)

問い合わせ先 東邦大学理学部生命圏環境科学科

学科主任 大越 健嗣

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

Tel/Fax : 047-472-5304

E-mail : koubo17@ext.toho-u.ac.jp

(メールタイトル「環境化学部門教員公募」)

**(公財) 鉄鋼環境基金 第38回環境助成研究募集**

募集期間 2017年4月1日(土)~5月31日(水)

応募資格 一般助成：日本国内にある組織に属する研究者  
若手助成：本年4月1日現在満年齢39歳以下の者

助成件数 50~60件程度

助成金額 一般：150万円以下 若手：100万円以下

応募方法 当財団のHP参照

決定期間 2017年10月下旬頃の理事会で決定。

詳細 URL <http://www.sept.or.jp/>

問い合わせ先 (公財) 鉄鋼環境基金

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町  
3-2-10 鉄鋼会館

Tel : 03-5652-5144 Fax : 03-5641-2444

E-mail : sept.soumu@sept.or.jp

**2018~2019年開催 藤原セミナー募集**

藤原科学財団は, 科学技術の振興に寄与することを目的として, 2018~2019年の間に「藤原セミナー」の開催を希望する研究者から, 下記募集要項に基づいて申請を受け付けます。

対象分野 自然科学の全分野

応募資格 わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

開催件数 2 件以内  
 開催費用援助額 1 件につき 12,000 千円以内  
 (総額 24,000 千円以内)  
 \*セミナーの要件など詳細は下記 HP をご参照ください。  
 申請方法 「藤原セミナー開催申請書」(1 通) を、所属  
 組織長を經由して当財団に提出すること。  
 学会への申請書提出締切 2017 年 7 月 7 日 (金)  
 問い合わせ先 (公財) 藤原科学財団  
 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12  
 Tel : 03-3561-7736 Fax : 03-3561-7860  
 URL : <http://www.fujizai.or.jp>

### 平成 29 年度島津賞候補者の推薦について

表彰の対象 科学技術、主として科学計測およびその周  
 辺の領域における基礎的な研究において、  
 著しい成果をあげた功労者。  
 表彰の内容 賞状、賞牌、副賞賞金 500 万円を贈呈  
 表彰件数 1 件  
 推薦の方法 学会推薦を要します。応募を希望される方  
 は学会事務局にお問い合わせください。学  
 会への申請期限は 8 月 31 日 (木) といたし  
 ます。  
 審査結果の通知 2017 年 12 月上旬に推薦学会宛てに文  
 書で通知  
 交付方法 2018 年 2 月に開催予定の表彰式において贈呈  
 受賞者による講演 受賞者には表彰式終了後、当該研究に  
 ついて受賞記念講演をお願いします。

### 公益信託下水道振興基金 平成 29 年度研究助成の募集

募集期間 2017 年 8 月 31 日 (木) 必着  
 応募資格 下記 HP 募集要項をご参照ください。  
 助成件数 応募状況を勘案して決定します。  
 助成金額 総額 800 万円程度  
 応募方法 所定の申請書を日本下水道協会 HP より取得  
 し、記入捺印の上、下記宛書留で送付ください。  
 決定期間 2017 年 9 月～10 月を目安  
 詳細 URL <http://www.jswa.jp/sitemap>  
 (平成 29 年度研究助成要項をご参照ください)

問い合わせ先  
 【申請書送付先】みずほ信託銀行 信託総合営業第五部  
 〒103-8670 東京都中央区八重洲 1-2-1  
 Tel : 03-3274-9177  
 【研究課題に関すること】公益社団法人 日本下水道協会  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-10-2  
 Tel : 03-6206-0251  
 ※申請一般および助成金の用途に関することは上記申  
 請書の送付先にご照会ください。

### 公益信託下水道振興基金 平成 29 年度海外研究助成の募集

募集期間 各国際会議とも研究発表日の 2 ヶ月前まで  
 応募資格 下水道関係の国際会議において研究論文を發  
 表する下水道研究者および技術者 (個人) と  
 します。  
 助成件数 応募状況を勘案して、決定します。  
 助成金額 実費 (応募状況を勘案して決定します。)  
 応募方法 所定の申請書に、発表を希望する国際会議の  
 応募要領および採択通知の写しを添付し提出。  
 決定期間 応募後 1 ヶ月程度  
 詳細 URL <http://www.jswa.jp/sitemap>  
 (平成 29 年度研究助成要項をご参照ください)  
 問い合わせ先  
 同基金平成 29 年度研究助成の募集と同じ

### 公益信託下水道振興基金 平成 29 年度東日本大震災復興研究等助成の募集

募集期間 2017 年 8 月 31 日 (木) 必着  
 応募資格 下記 HP 募集要項をご参照ください。  
 助成件数 応募状況を勘案して、決定します。  
 助成金額 総額 750 万円程度  
 応募方法 所定の申請書を日本下水道協会 HP より取得  
 し、記入捺印の上、下記宛書留で送付ください。  
 決定期間 2017 年 9 月～10 月  
 詳細 URL <http://www.jswa.jp/sitemap>  
 (平成 29 年度研究助成要項をご参照ください)  
 問い合わせ先  
 同基金平成 29 年度研究助成の募集と同じ

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は、国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>

### 水生生物調査法に関する冊子等のご案内

本会では、環境省水・大気環境局と国土交通省水管理・国土保全局編の水生生物による水質判定に関する冊子と下敷き、環境省水・大気環境局編の川辺で見かける生物たちに関する冊子を販売しております。これらは、小・中学生をはじめ、一般の方々にも身近な自然に接しながら、水辺の環境を理解していただくために大いに役立っております。  
 水生生物調査法に御関心のある方に、広く御利用いただくようお願いいたします。  
 購入ご希望の方は、下記「購入申込書」にご記入のうえ、E-mailまたはFaxにてお申し込みください。

#### 記

定価表(税込)(円)

印刷物	定価
1. 川の生きものを調べよう(冊子)	170円
2. 魚・鳥・植物(冊子)	170円
3. 川の生きものを調べよう(下敷)	150円

申込先 公益社団法人 日本水環境学会  
 〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7  
 グリーンプラザ深川常盤 201号  
 Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352  
 E-mail: infobio@jswe.or.jp

### 購 入 申 込 書

品名	価格(内税)	購入数
1. 川の生きものを調べよう(冊子)	170円	部
2. 魚・鳥・植物(冊子)	170円	部
3. 川の生きものを調べよう(下敷)	150円	枚

注) 送付先1ヵ所あたりの購入数が合計500部以上の場合、当方で送料を負担いたします。500部未満は実費をご負担願います。  
 上記のとおり購入を申し込みます。

平成 年 月 日

[送り先]

所在地 〒 .....

名称 .....

担当者名 ..... 電話 ..... FAX .....

支払い方法(○印) 銀行振込 \_\_\_\_\_ 郵便振替 \_\_\_\_\_

\*お振り込みの際の振込手数料はご負担をお願いいたします。  
 \*請求書の様式、宛先、納入日、その他ご指定がございましたらご記入ください。